

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	-	-			<b>2.6</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.8</b>	0.35	-	-			<b>2.8</b>
2.1 室温制御		3.2	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	-	-			
2 外皮性能	窓システムSC:0.48、U=4.17、外壁・その他:U=0.765、0.622	4.0	0.25	-	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		2.0	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	-	-			<b>3.3</b>
3.1 昼光利用		3.6	0.30	-	-			
1 昼光率	焼却施設3階事務室 2.42%	4.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-			
3.3 照度	焼却施設3階事務室 750lx	4.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.7</b>	0.25	-	-			<b>3.7</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.6	0.30	-	-			
1 換気量	焼却施設3階事務室の換気量が1.36倍	4.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能	居室床面積の1/30以上	4.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.4</b>	0.40	-	-			<b>3.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペースが12㎡/人以上で計画	5.0	0.33	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	-			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	焼却施設3階事務室 天井高が2.7m	4.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース	105.3㎡の休憩室を計画	4.0	0.33	-	-			
3 内装計画		1.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>4.0</b>	0.30	-	-			<b>4.0</b>
2.1 耐震・免震		4.6	0.50	-	-			
1 耐震性	重要度係数Iが1.50	5.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニル床タイル20年、壁・天井:石膏ボード30年	5.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水)水道用VLP管(B)、汚水雑排水)排水用TMP管(B)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.8</b>	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	グリーン購入法対応などの節水型衛生器具、排水系統区分の細分化、受水槽に蛇口を設置	4.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	耐震クラスS	5.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	PHS・光ケーブル等通信の多様化、精密機器を地上階に設置、非常用アナログ電話機を設置	4.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.9</b>	0.30	-	-	3.9
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	-
1	階高のゆとり	全ての階高が3.9m以上	5.0	0.60	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	焼却施設3階壁長さ比率が0.078	5.0	0.40	-	-	-
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>4.0</b>	0.30	-	-	-
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.38</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI=0.6	<b>5.0</b>	0.05	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.12	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEI 非住宅 0.98 住宅(専有部) -	<b>3.1</b>	0.59	-	-	<b>3.1</b>
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明の採用	3.1	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	-
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.24	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		自動水栓に加えて節水型便器を主要水栓の過半に採用している	<b>4.0</b>	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.5</b>	0.60	-	-	<b>3.5</b>
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		断熱材:ポリスチレンフォーム、ビニル床材	4.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上材で容易に分別可能、OA707を採用	5.0	0.20	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.2</b>	0.20	-	-	<b>3.2</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.3</b>	0.70	-	-	-
1 消火剤		不活性ガス消火剤を使用	4.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.5</b>	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制		駐車場を配置(必要台数分)、搬入車両用スペース考慮、敷地内を一方通行とし、周辺道路に渋滞がおこらないよう配慮	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		ゴミ量の推計や、ストックスペース、有価物の回収を計画	4.0	0.25	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	0.33	-	-	-
2 振動			3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			<b>4.4</b>	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明を行わない	5.0	0.70	-	-	-
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-